

## 【岐阜県下呂市】

### 校務 DX 計画

下呂市では令和2、3年度に1人1台端末導入と、校内ネットワークの整備を一体的に行い、教育のICT化に向けた環境整備を進めたところです。校務についても統合型校務支援システムを導入し、校務の効率化を図ってきました。また県域で実施されている教職員業務改善協議会に参加し、次世代型校務支援システムの令和8年度導入を予定しており、さらなる校務のDX化及び効率化を目指しているところです。

校務の方向性が示されている「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議の提言」等を踏まえつつ、「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果を指標とし、更に校務DXを推進し業務の効率化、教職員等の校務の負担軽減を目指します。

校務DX計画を推進するために以下のとおり取り組みます。

#### 1) FAX・押印の原則廃止

FAX・押印は校務の効率化・ペーパーレス化を図るうえで大きな阻害要因となるため原則廃止を目指します。教職員1人1台のパソコンと個人メールアドレスを付与し、学校間等教育関係機関との連絡においてFAXの使用を禁止します。押印についても文書一つ一つを精査し、その要否を判断の上、押印の原則廃止を目指します。

#### 2) 不合理な手入力作業の一掃

校務支援システムへの名簿情報の不合理な手入力作業などは、校務を不効率なものとしてしまい、望ましい校務の在り方の実現を阻害するため、校務における不合理な手入力作業の洗い出しと校務の見直しを行い、原則禁止するための取り組みを推進します。

#### 3) クラウド環境を活用した校務DXの積極的な推進

クラウド環境を基本としたネットワークを整備し、クラウドツールを積極的に活用することで校務の効率化・ペーパーレス化の推進を図ります。

#### 4) 次世代の校務システムの導入

現在の校務支援システムについては校務の効率化を図るため、県内自治体で共同運用されている統合型校務支援システムを導入しました。次世代型校務支援システムの導入に向けては、県域で実施されている教職員業務改善協議会に参加し、令和8年度導入を予定しています。新たなシステムではパブリッククラウドを活用したシステムを検討しており、教育現場での様々な校務の更なる効率化、教職員の働き方改革などを推進するため検討を進めます。